



2024年度
デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測
報告書 | 2024年8月
SBD | 報告書 | 644-24

レポート番号：#644



Connected

デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測 2024年

目次

概観：デジタルコックピットおよびカスタマーエクスペリエンスの開発に関連する重要トピックの概要
要旨：各地域におけるデジタルコックピット状況の概要

はじめに：本レポートの背景と目的

主要トレンド：デジタルコックピットの必須機能の分析と今後の動向予測

- ディスプレイ
- ヘッドアップディスプレイ
- 生体認証
- バーチャルパーソナルアシスタント
- 入力HMI
- ヘッドユニット
- メーターパネル
- ナビと地図

次のステップ：SBDが提供するサービス

デジタルコックピットが乗用車に搭載されて以降、その普及は「技術成熟度」と「自動車ライフサイクル管理」ならびにユーザーの「期待」と「受容度」の相関関係に影響されてきました。今日、世界中の多数のOEMがインテリジェントコックピットソリューションを展開しており、ソフトウェア中心のソリューションはOTAアップデートにより常に改良されています。

デジタルコックピットが絶え間なく進化する中で、OEM、サプライヤー、開発者は、現在のみならず将来の消費者のニーズに競合他社に先んじて対応することが求められています。新しいソリューションにおいて、家電製品で馴染みのあるデジタルエクスペリエンスを採用する取り組みが進められていることから、消費者ニーズへの対応がますます重要になっています。

本書「デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測」では、コックピット製品の普及と重要なコックピット機能に関して、今後10年間の装備率を市場ごとに予測します。本書は、OEMが提供する様々なコックピットに関し、データに基づく洞察を提供するとともに、デジタルコックピットが自動車メーカーにもたらす5つの主要なメリット - 消費者ニーズへの対応、ブランドロイヤルティの向上、機能の拡大、競争力の強化、新たな収益源の創出について考察します。

関連レポート

UXベンチマーク評価シリーズ

レポート番号：635

2024年HMIベンチマーク評価シリーズでは、コネクテッドカー、ADAS、自動運転車などのCASE分野に精通したSBDのエキスパートがユーザービリティ評価を実施、その結果をまとめています。

2024年度の評価対象車種/システム（予定）：BMW X1、Mercedes-Benz E-Class、Xiaomi SU7、Lincoln Nautilus、Hyundai Kona/Kona Electric、Volvo EX90、Audi Q6 e-tron、Acura ZDX、Avatr 12

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 ワンタイム

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

ページ数

74

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > 今後10年間で、主要なOEMグループはどのようにコックピットを展開するのか？
- > コックピットの搭載やサービスは、地域によってどのように異なるのか？
- > 特定のインフォテイメント機能はどのように進化すると予測されるか？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「デジタルコックピットおよび車載インフォテイメントの将来予測 2024年」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

